

アルザフォーラム 2024 のお知らせ

今年は「私のちょうどいい、心地よさを探す」をテーマに、
11月9日(土)～17日(日)まで開催します。ぜひ！ご参加ください♪

◇基調講演

「わたしとか 社会とか 居場所とか～生きやすさはどこにある?～」

講師:ジェーン・スーさん(コラムニスト・ラジオパーソナリティ)

日時:11月16日(土) 13:30～15:30

定員:抽選 200人 対象:新潟市在住の小学生以上 保育あり

会場:万代市民会館 6階 多目的ホール

◇分科会

モヤっとすること、あるあるを見える化

～「ジェンダーギャップを考えるカルタ」で学ぼう～

講師:末吉 洋文さん(帝塚山大学法学部 教授)

日時:11月9日(土) 14:00～16:00

定員:抽選30人 保育あり

対象:ジェンダーについて興味がある方どなたでも

会場:万代市民会館 4階 403・404 大研修室



◇DVD 上映会

①「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～」

日時:11月9日(土) 10:00～11:50

②「燃えあがる女性記者たち」(日本語字幕)

日時:11月15日(金) 14:00～15:45

①②ともに

定員:抽選 200人 対象:小学生以上 保育あり

会場:万代市民会館 6階 多目的ホール



◇ワークショップ、お申込みについて

詳細はホームページをご覧ください。



アルザフォーラム 2024
←ホームページはこちら

メール配信「アルザ情報」

講座情報等を月1回のペースで配信しています！ぜひご登録ください。

alza@city.niigata.lg.jp

←件名を「アルザ情報希望」としメールを送ってください♪

本文は不要です。受信後、確認の返信メールを送付します。

土日及び祝休日を除き、3日後までに届かない場合は、お手数ですがアルザにいがたまでご連絡ください。



情報図書室よりアンコンシャス・バイアスに関する本をご紹介します



あなたにもある 無意識の偏見 アンコンシャスバイアス
北村 英哉/著 河出書房新社

「無意識の偏見」は組織や人間関係を悪化させます。「歪んだ思い込み」からおきた失言やCMの炎上などを具体的に示しながら、偏見を生み出す心理や背景を分析してどのように解決していくべきかをわかりやすく論じています。



職場で使える ジェンダー・ハラスメント対策ブック
アンコンシャス・バイアスに斬り込む戦略的研修プログラム
小林 敦子/著 現代書館

ジェンダー・ハラスメントとは、性別で社会的に期待される役割を押し付けることです。原因は性別役割分担意識、アンコンシャス・バイアスといった固定観念や偏見が大きいとされています。物事を多角的に捉える力を養い、お互いを尊重しあえる社会を作ることで差別行為を抑止すると著者は述べています。



10代から知っておきたい 女性を閉じこめる「ずるい言葉」
森山 至貴/著 WAVE 出版

「女性のわりに話が通じるね」、「女性ならではの視点」、これらは女性を勝手に区別し、枠にはめ込もうとする「ずるい言葉」です。女性であるという理由で“こうあるべき”を押し付けられないよう10代から学ぶことで自由に生きるヒントを学べる本です。



それって決めつけじゃない!? アンコンシャス・バイアス 1巻 男子なら虫がさわられる!?!ほか
北村 英哉/監修、松島 恵利子/文、のほら あこ/マンガ・イラスト 汐文社

「男子は女子を助けるべき」、「動物が好きな人はやさしい」、そのような決めつけは誰かを苦しめたり、嫌な気持ちにさせたりします。自分にとっての当たり前は他の人の当たり前とは限りません。身近な場面をマンガとともに分かりやすく学べる児童書です。

アルザにいがた情報図書室は、新潟市図書館のカードで貸出ができます。

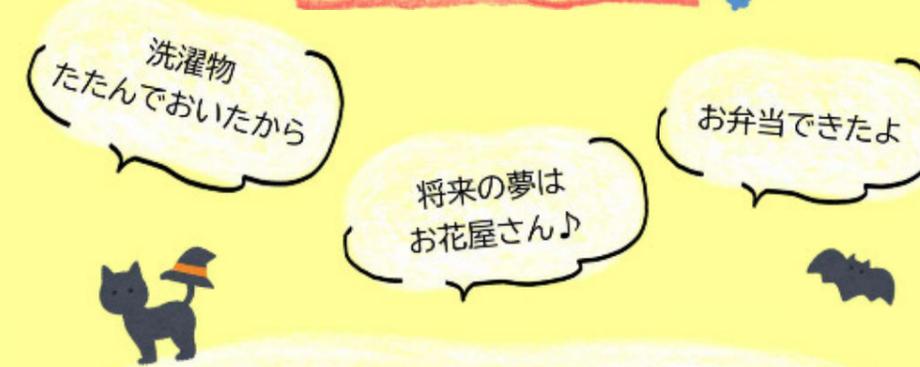
開室時間:月～金曜日 10:00～17:30

休室日:土日および祝休日、第1水曜、第4月曜(第4月曜が休日の場合は翌日も)、年末年始(12/29～1/3)、蔵書点検期間



特集:アンコンシャス・バイアス

について考えよう



あなたはどんな人を思い浮かべましたか?

それって無意識の思い込み...??

アルザにいがた

発行/新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
新潟市中央区東万代町 9-1 万代市民会館内
電話:025-246-7713 8:30～17:30 土日及び祝休日を除く
URL:https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza/
E-mail:alza@city.niigata.lg.jp



「アルザ」は、「志気を高める」、「高揚」という意味のスペイン語の「alza(アルサ)」が語源。開館5周年の公募で決定、センターが男女共同参画について意識を高める場であってほしいという願いが込められています。



アルザにいがた X (旧 Twitter)
講座情報や新着図書情報、職員が日常で感じたジェンダーに関することをつぶやいています。コメントや♡(いいね)、お待ちしております♪



情報紙のご意見・ご感想をEメールでお寄せください。



「男らしさ・女らしさ」よりも「その人らしさ」を尊重できていますか？

アンコンシャス・バイアスについて考えよう

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を耳にしたことはありませんか？

固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）は、自分らしい生き方の幅を狭めることになるかもしれません。

また、「こんなことを言ったら不適切？」「相手を気遣って言ったことがハラスメント？」などと周りの人とのコミュニケーションに悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

性別によるアンコンシャス・バイアスの意識の差

内閣府男女共同参画局が実施した「令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」について、結果の一部をご紹介します。

【性別役割意識】

男性 上位10項目		回答者数：5452	(%)	女性 上位10項目		回答者数：5384	(%)
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		48.7	1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		44.9
2	女性には女性らしい感性があるものだ		45.7	2	女性には女性らしい感性があるものだ		43.1
3	女性は感情的になりやすい		35.3	3	女性は感情的になりやすい		37.0
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		34.0	4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.2
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.8	5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		27.2
6	女性がか弱い存在なので、守られなければならない		33.1	6	女性がか弱い存在なので、守られなければならない		23.4
7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.4	7	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		21.6
8	男性は人前で泣くべきではない		28.9	8	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		21.5
9	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		28.6	9	組織のリーダーは男性の方が向いている		20.9
10	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		28.4	9	大きな会議や大事な交渉事は男性の方が良い		20.9

男性女性ともに上位に入った8項目のうち7項目は、男性の方が高い割合でした。

男性女性ともに割合が一番高かった項目は、「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」でした。男女差が大きく開いたのは、「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」（男性34.0%、女性21.5%）、「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」（男性30.4%、女性17.9%）、「男性は人前で泣くべきではない」（男性28.9%、女性17.6%）の「男性は〇〇べきだ」という3項目でした。

【性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験】

直接言われたあるいは言動や態度から感じた経験の割合は、男性より女性の方が高く、男性の1位は「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ（29.4%）」、女性の1位は「家事・育児は女性がするべきだ（40.8%）」でした。

言ったり、言動を感じさせた人は、多い順に、男性は①父親②男性の知人・友人③母親④男性の職場の上司、女性は①男性の職場の上司②母親③父親④男性の親戚という結果でした。

令和6年8月24日（土）

アンコンシャスバイアスについて考える講座

「組織・職場で活かせる 適切な対話とつき合い方」

講座紹介

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所認定トレーナーの宮本美穂さんを講師にお迎えし、自分の無意識の思い込みや世代間のジェンダーギャップについて、多くの事例をとりあげながら分かりやすくお話いただきました。

講座の一部をご紹介します。



アンコンシャスバイアスって何？

アンコンシャスバイアスとは、「無意識のうちに“こうだ”と思う」こと。

日常にあふれていて、誰にでもあるものです。

無意識がゆえに、完全になくすことはできないものの、「この考えはアンコンシャスバイアスでは？」と意識することで、モノの見方が変わったり、捉え方が変わったり、他の可能性を考えてみようと思えたり、一歩踏み出してみようという勇気ももてたり、一歩踏みとどまってみることができたりといったように、様々な変化がおとずれます。

なぜアンコンシャスバイアスが起るのか？

過去の経験・情報・知識・価値観により、「そうに違いない」と思うことが原因です。

それを生む社会の仕組みとして、校長先生や来賓の多くは男性だったことから、「社会のリーダーは男性」が向いていると思ったり、家事は母親だけがやっていたことから、「家事は女性の仕事」と決めつけたりすることが挙げられます。

世代の違いを理解する ～働き方の変化～

男は仕事・女は家庭の昭和時代

…終身雇用、1日8時間労働定着、週休2日制導入、男女雇用機会均等法
働き方が揺らいだ平成時代

…就職氷河期、過労死増加、働き方改革

ウイズコロナで働き方が変化した令和時代

…テレワーク、AIの普及、価値観の多様化、ワークライフバランス

管理職世代は「パワハラって言われたくないから言うのやめよう」「ゆとり世代は言っても無駄だな」、若者世代は「この先も一緒だし査定に響くといやだしなあ…」「これ言ったら上司の機嫌を損ねるんだろうな…」といったように、**世代間でお互いに物申せない状態になっていませんか？**

また、「どうせ言っても無駄」「我慢すればよい」「評価を下げられるかも」「嫌われたくない」「対立するのが面倒」「波風立てたくない」といったように、**お互い「不満」を伝えることに対し、無意識の思い込みはないでしょうか？**

自分の無意識のバイアスを疑おう

自己防衛心による言動は誰にでもあるもので、アンコンシャスバイアスがあること自体は問題ではありません。**問題は、自分のアンコンシャスバイアスに気付こうとしないこと。**自分自身のアンコンシャスバイアスを認識し、自分自身の「思い込み」に気が付き対処することが重要です。**「そうではない人もいます」という視点を持つことが大事です。**

活躍する女性をご紹介します②5

今回は、仕事と家庭の両立に悩んだご自身の経験から、家事代行サービスの事業を立ち上げた**和田しょうこ**さんをご紹介します。

【PROFILE】

子育てしながら夫婦共働き歴13年。「仕事、育児、家事。両立に悩んだら最初に手放すべきは家事。全てのママにその選択肢を。」という理念のもと会社員を辞め、起業。

年間300件以上家事代行サービスを提供。パパ向けお掃除講座やママ向け家事手放しワークショップなどの講座も開催。



■ 起業したきっかけを教えてください。

最初のきっかけは、会社員時代の研修で香港に行った時。夫婦で共働きなら、住込みの家政婦による家事育児サポートが【普通】で【当たり前】という生活文化に触れたことでした。出産後10年以上の間、仕事と家庭のバランスが取れず深く悩んでいた私にとって、「そもそもできないことをやろうとしていた自分」に気づいた瞬間でした。

ふたつめは、私自身が家事を外注した経験です。香港から帰ってきてから、家事の外注に興味津々でした。その頃、よき人との出会いがあり、ものは試しと思いついて我が家の家事を丸投げしたところ、仕事から帰宅したら、家がきれいに整っている、洗濯物がたたまれている、すぐに食卓を囲める…なんて幸せ！私の想像をはるかに超える感動でした。

長い間探してきた「両立の解決策」をやっと見つけた気がして、同じ悩みを持つママ達に伝えたいという思いで起業を決めました。

■ 起業するときに苦労したこととそれをどう乗り越えたかを教えてください。

家事代行って、まだまだ身近なサービスではないですよね？家事を人に頼むなんて…「恥ずかしい」「贅沢」「怠けている」「お金がもったいない」そういう既存の価値観にとらわれている人が多いので、事業プランを説明して否定される度に悲しい思いをしたり、自信をなくしたりしました。そういう時は、私自身の経験を思い出して、あの感動を必要としている人だけに届けばいいと考えるようにしました。すべての人に認めてもらう必要はないと。具体的には、掃除前後のリアルなお宅の写真、リアルなご感想をSNSで発信することで、少しずつお問合わせが増えるようになりました。

■ 起業してよかったことを教えてください。

お客様からいただく「ありがとう」の言葉が嬉しいです。おうちがきれいになって気持ちがいいのは大人も子どもも一緒だな、と改めて感じますし、毎日時間に追われている方達のお役に立てて、いい仕事をしているなど自画自賛しています。

■ 起業を考えている方にメッセージを

起業というと、人生をかけた博打って感じがしますよね。私も子どもが3人いて、会社員の安定した収入を手放すことに不安がありましたし、夫からも強い反発を受けました。実際起業して思うのは、会社員も、個人事業主も、専業主婦も、それぞれいい面もキツイ面もあるということ。私の場合、年収は以前の半分になったけど、ストレス激減、子どもとの時間確保、夫への感謝の気持ちを持てるようになった、世の中の役に立てている実感、自宅のスッキリ＆キレイがキープできているなど、総合的にやって良かったと満足しています。